

■財政収支・財政指標の推移

(単位：千円、%、ポイント)

区 分	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		増 減 率 等		増 減 率 等		増 減 率 等		増 減 率 等		増 減 率 等
歳 入 総 額 (A)	38,612,778	△ 9.4	39,470,191	2.2	39,361,857	△ 0.3	43,908,184	11.6	45,781,824	4.3
歳 出 総 額 (B)	37,420,626	△ 10.0	38,115,585	1.9	38,209,667	0.2	42,377,174	10.9	44,251,381	4.4
歳入歳出差引額 (A) - (B) (C)	1,192,152	18.4	1,354,606	13.6	1,152,190	△ 14.9	1,531,010	32.9	1,530,443	0.0
翌年度へ繰り越すべき財源 (D)	165,721	30.4	176,910	6.8	239,715	35.5	669,910	179.5	243,822	△ 63.6
実 質 収 支 (C) - (D) (E)	1,026,431	16.7	1,177,696	14.7	912,475	△ 22.5	861,100	△ 5.6	1,286,621	49.4
単 年 度 収 支 (F)	146,846	13.4	151,265	3.0	△ 265,221	△ 275.3	△ 51,375	△ 80.6	425,521	△ 928.3
積 立 金 (G)	650,775	62.4	600,852	△ 7.7	1,199	△ 99.8	2,692	124.5	10,497	289.9
繰 上 償 還 金 (H)	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
積 立 金 取 崩 し 額 (I)	0	0.0	0	0.0	0	0.0	750,000	皆増	0	皆減
実質単年度収支 (F+G+H-I) (J)	797,621	50.4	752,117	△ 5.7	△ 264,022	△ 135.1	△ 798,683	202.5	436,018	△ 154.6
基準財政収入額 (一本算定) (K)	5,299,145	△ 3.5	5,466,485	3.2	5,637,457	3.1	5,660,190	0.4	5,796,080	2.4
基準財政需要額 (一本算定) (L)	18,904,862	2.8	19,046,999	0.8	19,089,915	0.2	19,221,554	0.7	19,813,120	3.1
標 準 財 政 規 模 (M)	20,961,069	2.8	20,609,996	△ 1.7	20,606,704	0.0	20,645,463	0.2	21,245,515	2.9
臨時財政対策債発行可能額 (N)	786,278	22.2	213,872	△ 72.8	95,144	△ 55.5	44,290	△ 53.4	0	皆減
実 質 収 支 比 率 (E)/(M) (O)	4.9	0.6	5.7	0.8	4.4	△ 1.3	4.2	△ 0.2	6.1	1.9
経 常 収 支 比 率 (P)	90.1	△ 4.2	94.2	4.1	95.2	1.0	96.4	1.2	98.0	1.6
財 政 力 指 数 (K)/(L) (Q)										
	3 か 年 平 均									
	3 か 年 平 均									
公 債 費 比 率 (R)	7.9	0.0	8.3	0.4	7.6	△ 0.7	7.2	△ 0.4	7.0	△ 0.2
実 質 公 債 費 比 率 (T)										
	3 か 年 平 均									
将 来 負 担 比 率 (U)	120.0	△ 9.2	118.9	△ 1.1	113.4	△ 5.5	126.1	12.7	145.4	19.3

※標準財政規模には、臨時財政対策債発行可能額を含んでいる。

■財政健全化指標関係 実質赤字比率・連結実質赤字比率の状況

【実質赤字比率】 (単位：千円)

会計区分	会 計 名 称	実質収支額			摘 要
		令和7年度	令和6年度	増 減	
一般会計等	一般会計 A	1,286,621	861,100	425,521	形式収支 － 繰越財源
標準財政規模		21,245,515	20,645,463	600,052	標準税収入額、普通交付税額、臨時財政対策債発行可能額の合算額
実 質 赤 字 比 率		△ 6.05%	△ 4.17%	△ 1.88ポイント	※黒字の場合は、マイナス表示

【連結実質赤字比率】 (単位：千円)

会計区分		会 計 名 称	実質収支額（資金不足・剰余金）			摘 要
			令和7年度	令和6年度	増 減	
一般会計等以外の特別会計のうち公営企業会計を除く		国民健康保険事業	31,212	41,370	△ 10,158	形式収支 － 繰越財源
		国民健康保険直営診療所事業	16,827	12,321	4,506	
		後期高齢者医療事業	7,597	6,849	748	
		介護保険事業	120,745	119,819	926	
		介護サービス事業	5,571	21,347	△ 15,776	
		計 B	181,952	201,706	△ 19,754	
公 営 企 業 会 計	法適用	水道事業	1,248,064	1,288,857	△ 40,793	流動資産 －（流動負債 ＋ 算入地方債） （資金不足の場合、解消可能資金不足額があれば控除可能） ※算入地方債…建設改良費、準建設改良費以外の経費に充てるために起した地方債の残高
		下水道事業	116,165	230,581	△ 114,416	
		病院事業	△ 449,006	△ 448,233	△ 773	
		計 C	915,223	1,071,205	△ 155,982	
	法非適用	市民太陽光発電所事業	10,648	13,386	△ 2,738	形式収支 － 繰越財源（赤字の場合、解消可能資金不足があれば控除可能）
		工業用地造成事業	10,174	23,264	△ 13,090	（形式収支 － 繰越財源）＋ 土地収入見込額 － 市債残高 ただし造成中の用地造成事業は算定対象外。また当該会計の決算額が黒字の場合には、市債残高を算入した結果が赤字であっても「0」となる。
		宅地造成事業	50,572	50,790	△ 218	
		計 D	71,394	87,440	△ 16,046	
	計（B+C+D）		1,168,569	1,360,351	△ 191,782	
	合 計（A+B+C+D）		2,455,190	2,221,451	233,739	
標 準 財 政 規 模		21,245,515	20,645,463	600,052	標準税収入額等、普通交付税額、臨時財政対策債発行可能額の合算額	
連 結 実 質 赤 字 比 率		△ 11.55%	△ 10.75%	△ 0.8ポイント	※黒字の場合は、マイナス表示	

■財政健全化指標関係 実質公債費比率等の状況（その1）

（単位：千円、％、ポイント）

項 目		令和3年度	伸び率等	令和4年度	伸び率等	令和5年度	伸び率等	令和6年度	伸び率等	令和7年度	伸び率等	
標準財政規模		A	20,961,069	2.8	20,609,996	△ 1.7	20,606,704	0.0	20,645,463	0.2	21,245,515	2.9
標準税収入額等			6,590,055	△ 3.8	6,804,763	3.3	7,012,213	3.0	7,039,809	0.4	7,200,786	2.3
普通交付税			13,584,736	5.4	13,591,361	0.0	13,499,347	△ 0.7	13,561,364	0.5	14,044,729	3.6
臨時財政対策債発行可能額			786,278	22.2	213,872	△ 72.8	95,144	△ 55.5	44,290	△ 53.4	0	皆減
前年度末地方債現在高		B	37,998,716	△ 2.0	36,695,023	△ 3.4	35,381,045	△ 3.6	34,162,714	△ 3.4	37,539,426	9.9
当該年度地方債発行額		C	3,271,000	△ 10.8	3,294,900	0.7	3,181,900	△ 3.4	6,112,300	92.1	5,964,100	△ 2.4
当該年度償還額		D	4,728,184	1.7	4,735,572	0.2	4,509,406	△ 4.8	4,463,001	△ 1.0	4,523,897	1.4
うち 元金分		E	4,574,693	2.7	4,608,878	0.7	4,400,231	△ 4.5	4,355,955	△ 1.0	4,343,733	△ 0.3
うち 当該年度繰上償還額		F	68,968	95.6	38,570	△ 44.1	0	皆減	19,402	皆増	0	皆減
当該年度償還額充当特定財源		G	53,385	△ 7.2	49,278	△ 7.7	27,063	△ 45.1	55,245	104.1	131,883	138.7
基準財政需要額 算入公債費	単位費用分	H	3,207,853	0.2	3,193,890	△ 0.4	3,148,273	△ 1.4	3,118,320	△ 1.0	3,117,238	0.0
	事業費補正分	I	90,974	△ 9.3	85,776	△ 5.7	79,962	△ 6.8	66,309	△ 17.1	70,979	7.0
(D － F － G － H)		J	1,397,978	3.1	1,453,834	4.0	1,334,070	△ 8.2	1,270,034	△ 4.8	1,274,776	0.4
決算統計37表債務負担行為の状況 05行17列の額 ＜PFI事業＞		K	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
決算統計37表債務負担行為の状況 05行19列の額 ＜五省協定等＞		K'	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
公債費比率 (J － L) ／ (A － H)			7.9	0.0	8.3	0.4	7.6	△ 0.7	7.2	△ 0.4	7.0	△ 0.2
転貸債償還額		L	2,542	△ 29.7	1,551	△ 39.0	152	△ 90.2	6	△ 96.1	0	皆減
公営企業債償還額		M	42,530	△ 1.0	39,509	△ 7.1	40,293	2.0	33,345	△ 17.2	34,079	2.2
地方債残高比率 (B + C － E) ／ A			175.1	△ 11.3	171.7	△ 3.4	165.8	△ 5.9	174.0	8.2	184.3	10.3

■財政健全化指標関係 実質公債費比率等の状況（その2）

（単位：千円、％、ポイント）

項 目		令和3年度	伸び率等	令和4年度	伸び率等	令和5年度	伸び率等	令和6年度	伸び率等	令和7年度	伸び率等	
当該年度償還額		D	4,728,184	1.7	4,735,572	0.2	4,509,406	△ 4.8	4,463,001	△ 1.0	4,523,897	1.4
うち当該年度繰上償還額		d1	68,968	95.6	38,570	△ 44.1	0	皆減	19,402	皆増	0	皆減
うち満期一括償還地方債の元金償還金		d2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
うち減債基金の運用によって生じた利子等を財源とした額		d3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
小 計 （D－（d1＋d2＋d3））		D'	4,659,216	1.0	4,697,002	0.8	4,509,406	△ 4.0	4,443,599	△ 1.5	4,523,897	1.8
公営企業債償還額		M	42,530	△ 1.0	39,509	△ 7.1	40,293	2.0	33,345	△ 17.2	34,079	2.2
当該年度準元利償還額（n1～n5）		N	1,951,340	7.8	1,959,461	0.4	1,930,378	△ 1.5	1,949,356	1.0	1,972,716	1.2
満期一括償還地方債の年度割相当額		n1	10,000	0.0	10,000	0.0	10,000	0.0	10,000	0.0	10,000	0.0
公営企業債の元利償還金に対する普通会計からの繰入金		n2	1,925,991	8.0	1,937,297	0.6	1,911,289	△ 1.3	1,931,729	1.1	1,956,738	1.3
一部事務組合等負担金(公債費相当分)		n3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの		n4	15,349	△ 8.9	12,164	△ 20.8	9,089	△ 25.3	7,627	△ 16.1	5,978	△ 21.6
一時借入金利子額		n5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
当該年度準元利償還額充当特定財源		O	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
都市計画事業の財源として発行された地方債償還額に充当した都市計画税		Q	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
算入公債費	単位費用分	H	3,207,853	0.2	3,193,890	△ 0.4	3,148,273	△ 1.4	3,118,320	△ 1.0	3,117,238	0.0
	準公債費に係るもの	h	283,686	15.1	280,075	△ 1.3	222,323	△ 20.6	236,640	6.4	265,862	12.3
	事業費補正分	I	91,145	△ 9.1	85,776	△ 5.9	79,962	△ 6.8	66,309	△ 17.1	70,979	7.0
	準公債費に係るもの	i	621,799	1.2	645,150	3.8	626,966	△ 2.8	545,939	△ 12.9	594,172	8.8
	密度補正分	P	229,580	6.1	237,707	3.5	236,459	△ 0.5	199,232	△ 15.7	197,945	△ 0.6
	合 計	R	4,434,063	1.3	4,442,598	0.2	4,313,983	△ 2.9	4,166,440	△ 3.4	4,246,196	1.9
実質公債費比率((D' ＋N)－(G＋O＋Q＋R))／(A－R)			12.84630	0.42251	13.38859	0.54229	12.88145	△ 0.50714	13.17596	0.29451	12.46246	△ 0.71350
実 質 公 債 費 比 率 （ 3 か 年 平 均 ）			12.5	0.2	12.8	0.3	13.0	0.2	13.1	0.1	12.8	△ 0.3

※ 実質公債費比率は、単年度分は小数点以下第6位四捨五入、3か年平均は小数点以下第1位未満切捨てとなる。

■財政健全化指標関係 将来負担比率の状況（その1）

（単位：千円）

区 分		令和7年度	令和6年度	増 減	備 考
将来負担額 ①～⑧の合計 A		73,685,876	69,402,639	4,283,237	
地方債の現在高	一般会計 ①	37,539,426	35,919,059	1,620,367	
債務負担行為に基づく支出予定額	丹後地区土地開発公社分	0	0	0	
	老人福祉施設等償還補助金分	0	0	0	
	計 ②	0	0	0	
公営企業債等繰入見込額	水道事業会計	3,912,890	3,957,853	△ 44,963	
	下水道事業会計	22,905,885	20,887,189	2,018,696	
	病院事業会計	4,773,882	4,260,651	513,231	
	市民太陽光発電所事業特別会計	0	0	0	一般会計からの繰入がないためゼロ
	国民健康保険直営診療所事業特別会計	130,428	136,506	△ 6,078	
	介護サービス事業特別会計	278,726	298,735	△ 20,009	
	計 ③	32,001,811	29,540,934	2,460,877	
一部事務組合等負担見込額	住宅新築資金等貸付事業管理組合 ④	0	0	0	
退職手当負担見込額	一般会計等対象職員	4,580,696	4,283,761	296,935	R7：592人、R6：580人
	特別職	13,485	11,308	2,177	
	組合積立金控除額	△ 449,542	△ 352,423	△ 97,119	
	計 ⑤	4,144,639	3,942,646	201,993	
設立法人の負債額等負担見込額	地方道路公社	0	0	0	
	土地開発公社	0	0	0	
	第三セクター等	0	0	0	
	計 ⑥	0	0	0	
連結実質赤字額	当該年度連結実質赤字額 ⑦	0	0	0	
組合等連結実質赤字額負担見込額	京都市市町村職員退職手当組合	0	0	0	組合等の決算が黒字のためゼロ
	京都府後期高齢者医療広域連合	0	0	0	//
	京都府住宅新築資金等貸付事業管理組合	0	0	0	//
	京都府自治会館管理組合	0	0	0	//
	京都市市町村議会議員公務災害補償等組合	0	0	0	//
	京都地方税機構	0	0	0	//
	計 ⑧	0	0	0	

■財政健全化指標関係 将来負担比率の状況（その2）

（単位：千円）

区 分		令和7年度	令和6年度	増 減	備 考
充当可能財源等 ⑨～⑪の合計 B		48,961,241	48,606,452	354,789	
充当可能基金	一般会計基金（地域振興基金等を除く）	6,485,361	6,652,789	△ 167,428	
	土地開発基金	12,306	12,288	18	現金分のみ
	国民健康保険事業基金	219,127	464,097	△ 244,970	
	介護給付費準備基金	743,352	732,226	11,126	
	介護サービス事業基金	298	297	1	
	国民健康保険高額療養費資金貸付基金	32,199	32,151	48	現金分のみ
	計 ⑨	7,492,643	7,893,848	△ 401,205	
充当可能特定歳入	ふるさと融資貸付金元金償還金	0	0	0	
	市営住宅使用料	195,195	105,392	89,803	
	都市計画税（公債費充当分）	0	0	0	
	計 ⑩	195,195	105,392	89,803	
基準財政需要額算入見込額	公債費残高に対する交付税算入額 ⑪	41,273,403	40,607,212	666,191	
標準財政規模 C		21,245,515	20,645,463	600,052	
標準財政規模	標準税収入額等	7,200,786	7,039,809	160,977	
	普通交付税額	14,044,729	13,561,364	483,365	
	臨時財政対策債	0	44,290	△ 44,290	
算入公債費 D		4,246,196	4,166,440	79,756	
算入公債費	災害復旧費等	3,117,238	3,118,320	△ 1,082	
	災害復旧費等（準元利償還金分）	265,862	236,640	29,222	特別会計等の公債費分
	事業費補正により算入された公債費	70,979	66,309	4,670	
	事業費補正による算入公債費（準元利償還金分）	594,172	545,939	48,233	特別会計等の公債費分
	密度補正により算入された元利償還金	5,619	6,247	△ 628	
	密度補正により算入された準元利償還金	192,326	192,985	△ 659	特別会計等の公債費分

◆将来負担比率の算式

＜分子＞	将来負担額 A	－	充当可能財源等 B	$\frac{\alpha}{\beta}$	24,724,635	20,796,187	3,928,448	
＜分母＞	標準財政規模 C	－	算入公債費 D	β	16,999,319	16,479,023	520,296	
将来負担比率（ α / β ）					145.4%	126.1%	19.3 μ 1 μ ト	

■財政健全化指標関係 公営企業会計資金不足比率の状況

○法適用企業 (単位：千円、%)

会 計 名 称	年度	流動負債 ①	負債算入地方債 (退職手当債等) ②	流動資産 ③	小 計 ④=①+②-③	解 消 可 能 資 金 不 足 額 ⑤	資 金 不 足 額 ⑥=④-⑤	事業規模 ⑦	資金不足比率 ⑥/⑦
水道事業	R7	266,167	0	1,514,231	△ 1,248,064	0	△ 1,248,064	1,034,107	-
	R6	611,026	0	1,899,883	△ 1,288,857	0	△ 1,288,857	1,020,729	-
下水道事業	R7	577,060	0	693,225	△ 116,165	0	△ 116,165	548,460	-
	R6	821,520	0	1,052,101	△ 230,581	0	△ 230,581	550,867	-
病院事業	R7	1,704,295	1,327,019	1,224,804	1,806,510	1,357,504	449,006	5,318,672	8.4
	R6	1,839,353	186,204	1,363,912	661,645	213,412	448,233	5,760,244	7.7

○法非適用企業 (単位：千円、%)

会 計 名 称	年度	歳 出 ①	負債算入地方債 (退職手当債等) ②	歳 入 (繰越財源控除) ③	小 計 ④=①+②-③	解 消 可 能 資 金 不 足 額 ⑤	資 金 不 足 額 ⑥=④-⑤	事業規模 ⑦	資金不足比率 ⑥/⑦
市民太陽光発電所事業	R7	46,266	0	56,914	△ 10,648	0	△ 10,648	43,351	-
	R6	44,332	0	57,718	△ 13,386	0	△ 13,386	42,435	-

○法非適用企業（用地関係会計） (単位：千円、%)

会 計 名 称	年度	歳 出 ①	負債算入地方債 (退職手当債等) ②	歳 入 (繰越財源控除) ③	土地収入見込額 ④	地方債現在高 ⑤	長期借入金 ⑥	小 計 ⑦=①+②-③ +(⑤+⑥-④)	解 消 可 能 資 金 不 足 額 ⑧	資 金 不 足 額 ⑨=⑦-⑧	事業規模 ⑩	資金不足比率 ⑨/⑩
工業用地造成事業	R7	113,568	0	123,742	0	0	0	△ 10,174	0	△ 10,174	10,174	-
	R6	7,506	0	16,757	14,013	0	0	△ 23,264	0	△ 23,264	23,264	-
宅地造成事業	R7	308	0	50,880	0	0	0	△ 50,572	0	△ 50,572	50,572	-
	R6	24	0	50,814	0	0	0	△ 50,790	0	△ 50,790	50,790	-

※用地関係会計において、未売出となっている区画分の土地収入額は「0」となる。
※用地関係会計の小計は、①+②-③-④がマイナスであれば、⑤地方債現在高、⑥長期借入金を算入した結果がプラスとなっても「0」となる。
※用地関係会計の事業規模は、地方債現在高と長期借入金の合計額。但し、実質黒字額と土地収入見込額の合計額を下回る場合は、実質黒字額と土地収入見込額の合計額とする。
※資金不足がある場合は、正の数値で表記。（黒字の場合はマイナス表記）